

津山市立教育・保育施設再構築計画

概要版

津山市では、公立幼稚園・保育所を再構築するため、標記の計画を平成27年5月に定めており、現在、市内の各地区で幼児教育・保育のさらなる充実に向けた取組を進めています。

計画の目的

- 公立幼稚園（全14園〔うち1園は休園中〕）について、園児数の大幅な減少（平成16年度：552人⇒平成26年度：325人〔約半数の園が10人前後〕）、施設の老朽化（築30年以上の園が10園）、複式対応園の存在（5園）などの課題への対応を図り、望ましい集団教育の実施をめざす。
- 平成27年度から31年度を期間とする「津山市子ども・子育て支援事業計画」に掲げた市内全地区（津山、加茂・阿波、勝北、久米の4地区）における幼児教育の量の見込み（二ーズ量）を満たすため、現在の公立幼稚園の全園廃止を前提として、地区ごとに必要な提供体制の構築をめざす。

基本理念

- 本市における幼児教育の基本理念として、「津山市における幼児教育の理念と展望」を継承する。
- 公立は、すべての子どもに必要とされる幼児教育を保障する責務を担っており、これを全うするための体制は、引き続き堅持する。

公立幼稚園の役割

- 幼児教育水準の確保
- 幼児教育の質向上のための研究
- 先進的・実験的幼児教育への取組
- 社会的な支援の必要性が高い子どもに対する教育保育の機会の確保
- 特別支援教育の充実
- 子育て支援の充実
- 保幼小連携の推進



公立幼稚園（新設園）の規模

- 新設の幼稚園では、4歳児・5歳児保育に加えて、新たに3歳児保育を実施し、1園当たり、年齢ごとに2～3クラスを設置
- 各クラスの利用定員は、入所申込みの状況などを踏まえて設定

再構築に伴う課題への対応

- 保護者・地域に対する説明会の開催や私立施設との調整
- 既存施設の閉園及び新設園開園時に伴う最善の保育環境の確保に向けたきめ細かな支援の実施
- 駐車場等の整備による送迎の利便性確保や路線バスの活用・通園バスの運行等による通園手段の確保
- 就園・未就園にかかわらず利用できる子育て支援機能の充実
- 閉園後の施設等の適切な財産活用の検討

各地区の再構築計画進捗状況

| 地区 | 現況 |
|---------|--|
| 津山地区 | ・既設の公立幼稚園全12園を閉園（平成30年度末） ・公立幼稚園2園を高野本郷及び二宮地内に新設（平成31年度開園） |
| 加茂・阿波地区 | ・公立の公郷保育所、加茂幼稚園及び阿波幼稚園を閉園（平成30年度末） ・加茂保育園（私立）が保育所型認定こども園に移行（平成31年度から） |
| 勝北地区 | ・勝北風の子こども園（公立）を幼保連携型認定こども園に移行（平成28年度から実施済み） |
| 久米地区 | ・久米保育所（公立）を保育所型認定こども園に移行（平成29年度から実施済み） |

津山市立教育・保育施設再構築計画

概要版